			第6期		第7期						
	サービス種別単位					7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題
		時間分	計画(a)	24,768	25,053	25,029	25,000			計画した見込み量に対して、	指定事業所におけるヘルパー人材の確保や利用者のニーズに応じた指定事業所
	D 六 A 2#	(月)	実績(b)	23,445	23,149			92.4%	,	ほぼ達成できた(80%以上〜 100%未満)	の確保が課題である。
	居宅介護	人分	計画(a)	1,032	1,031	1,030	1,029		4		
		(月)	実績(b)	1,020	979			95.0%			
		時間分	計画(a)	17,940	19,526	19,959	20,393			達成できた(100%以上)	指定事業所におけるヘルパー人材の確保や利用者のニーズ(強度行動障がいへの対応するなどによりませた。
	<b>丢</b> <del>在</del> 計	(月)	実績(b)	17,954	21,410			109.6%	5		の対応も含め)に応じた指定事業所の確保が課題である。
	重度訪問介護	人分	計画(a)	38	45	46	47		5		
		(月)	実績(b)	43	45			100.0%			
訪問		時間分	計画(a)	3,841	3,783	3,801	3,801			計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上~	指定事業所におけるヘルパー人材の確保や利用者のニーズに応じた指定事業所 の確保が課題である。
系サ	同年坪雄	(月)	実績(b)	4,017	3,351			88.6%	4	100%未満)	の唯体が味趣である。
l i	同行援護	人分	計画(a)	199	209	210	210		4		
ビス		(月)	実績(b)	205	212			101.4%			
		時間分	計画(a)	566	451	441	431			計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60%	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。
	行動援護	(月)	実績(b)	399	291			64.5%	3	以上~80%未満)	<i>හ</i> ත <sub>0</sub>
指		人分 (月)	計画(a)	48	43	42	41		3		
定		(月)	実績(b)	33	37			86.0%			
障が		時間分	計画(a)	372	372	372	372			その他	指定事業所がないため、利用者のニーズに応じて複数のサービスを組み合わせて対応している。
福	重度障がい者等包括支援	(月)	実績(b)	0	0			0.0%	1		CAND C CVS.
祉		人分	計画(a)	1	1	1	1				
비비		(月)	実績(b)	0	0			0.0%			
۲ ۲		人日分	計画(a)	32,340	31,180	31,540	31,900			計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上~	利用者のニーズに応じた指定事業所、特に医療的ケア、入浴サービス及び強度 行動障がい者への支援の体制確保及び、増加する特別支援学校卒業生の受け入
	生活介護	(月)	実績(b)	29,398	30,087			96.5%		100%未満)	れが可能な指定事業所の確保が課題である。
	工石月段	人分 (月)	計画(a)	1,617	1,559	1,577	1,595		4		
		(月)	実績(b)	1,537	1,553			99.6%	7		
	うち、強度行動障がい者	人分 (月)	計画(a)		448	454	459				
日	プラ、強及打動陣がい1	(月)	実績(b)		517			115.4%			
中活		人日分	計画(a)	196	300	300	300			計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60%	事業所の数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題。
動系	自立訓練(機能訓練)	(月)	実績(b)	235	273			91.0%	3	以上~80%未満)	
	日立訓練 (放作訓練)	人分 (月)	計画(a)	11	19	19	19		3		
   Ľ		(月)	実績(b)	14	13			68.4%			
		人日分	計画(a)	1,470	1,470	1,470	1,470			達成できた(100%以上)	事業所の数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題。
	自立訓練(生活訓練)	(月)	実績(b)	1,447	1,537			104.6%	5		
	日立訓禄(生泊訓練)	人分	計画(a)	82	82	82	82		5		
		(月)	実績(b)	75	87			106.1%			
	\$P\$	人日分	計画(a)		_	35	70		_		_
	就労選択支援	(月)	実績(b)						_		_

				第6期		第7期					
	サービス種別	単位		5年度	6年度	7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題
		人日分	計画(a)	8,360	5,107	5,184	5,261			計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	利用者数と事業所数はともに減少傾向に転じた。利用者のニーズに応じた指定
	+4 24 47 47 + 1111	(月)	実績(b)	4,965	4,761			93.2%	4	100%未満)	事業所の確保が必要である。
	就労移行支援	人分	計画(a)	380	266	270	274		4		
		(月)	実績(b)	274	263			98.9%			
		人日分	計画(a)	6,952	11,436	12,850	14,432			計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60%	令和6年度報酬改定の影響により事業所数が減少した。既存の事業所について も生産活動の採算性が低く、経営改善計画の対象となっている指定事業所があ
	   就労継続支援A型	(月)	実績(b)	8,997	7,462			65.3%	3	以上~80%未満)	ることから、運営の適正化が必要である。
	成力 松杭 文 接 A 至	人分 (月)	計画(a)	316	542	609	684		3		
		(月)	実績(b)	447	367			67.7%			
旦		人日分	計画(a)	44,616	45,809	47,823	49,913			計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	利用者数と事業所数はともに増加傾向が続いている。利用者のニーズに応じた 指定事業所の確保が必要である。
中活		(月)	実績(b)	40,071	43,182			94.3%	4	100%未満)	作に手来がい作体が必要である。 
動系	別分極続文援D型 	人分 (月)	計画(a)	2,028	2,411	2,517	2,627		4	4	
指したサー		(月)	実績(b)	2,276	2,478			102.8%			
定し。	* ************************************	人分 (月)	計画(a)	107	135	148	162		5	達成できた(100%以上)	利用者数と事業所数はともに増加傾向が続いている。利用者のニーズに応じた 指定事業所の確保が必要である。
障がス		(月)	実績(b)	130	162			120.0%	D.		拍応事業別の唯体が必要である。
い福	療養介護	人分 (月)	計画(a)	117	118	118	118		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題であるが、実施機関が医療機関であり、事業所が増えにくいという課題がある。
祉	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	(月)	実績(b)	115	113			95.8%	4	100%未満)	めるが、天肥候実が広僚候判であり、争未別が増えにくいていう味趣がある。
サー		人日分	計画(a)	2,736	3,108	3,204	3,306			計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	緊急の利用が限られていたり、必ずしも利用者の希望に沿った利用はできていないものの、事業所の新規指定の増加などにより、在宅生活の充実は図られて
Ę	短期入所	(月)	実績(b)	2,835	3,081			99.1%		100%未満)	またいる。 またいる。
ス	(福祉型・医療型)	人分	計画(a)	480	518	534	551		4		
		(月)	実績(b)	519	522			100.8%	4		
	3.4 设在行動時期以来	人分	計画(a)		44	45	47				
	うち、強度行動障がい者	(月)	実績(b)		38			86.4%			
	自立生活援助	人分 (月)	計画(a)	3	3	3	3		2	計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	事業所の数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題。
		(月)	実績(b)	2	1			33.3%	2	建成 C C なが J た(00 /0 木闸)	
居住		人分	計画(a)	641	934	1,021	1,108			計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	比較的軽度の障がい者を受け入れる事業所は増加しているものの、重度の障かい者を受け入れる事業所の確保が課題となっている。
系サ	(グループホーム)	(角)	実績(b)	874	912			97.6%	4	100%未満)	い名を支げ入れる争未所の唯体が誅題となっている。
ĺ	2.4. 沙皮怎样的,**	人分 (月)	計画(a)		64	70	76		4		
ビス		(月)	実績(b)		81			126.6%			
^		人分 (月)	計画(a)	639	639	639	639		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	待機者の定期的な現状確認を行うとともに、地域生活の継続において必要となるサービスの利用促進を図る必要がある。
	施設入所支援	(月)	実績(b)	601	592			92.6%	4	100%未満)	るサービスの利用促進を図る必要がある。
		the ac	計画(a)	14	23	24	25			達成できた(100%以上)	地域生活支援拠点等事業の認知度の向上に向けて各区自立支援協議会での周知 や協議を行った。また、拠点事業連絡会議を開催し、事業所間の一層の連携強
		箇所	実績(b)	18	27			117.4%			化を図った。国が示す5つの機能を全市的に展開している状況となっている
ᄔᅷᄔᅩ	- 士 控 协 占 <b>生</b>	コーディネー	計画(a)		1	1	1		5		が、引き続き、各地域の課題に応じ、必要な機能の充実に向けた協議を継続していく必要がある。
心以生沽	5支援拠点等 	ターの配置人数	実績(b)		1			100.0%	5		CV (X) X N O O O
			計画(a)	10	10	10	10				
		実施回数 (年)	実績(b)	10	10			100.0%			

				第6期		第7期					
	サービス種別	単位	単位		6年度	7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題
	計画相談支援	人分	計画(a)	2,060	1,892	2,025	2,167		5	達成できた(100%以上)	障がい福祉サービス利用者の増加に伴い、サービス等利用計画の作成を担う相談支援専門員の確保が課題である。
相	計画相談又接	(月)	実績(b)	1,639	1,959			103.5%	5		歌文振寺  J貝の唯体が味趣である。
談	地域移行支援	人分	計画(a)	1	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	地域移行支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。
支援	70-9/17 / IX	(月)	実績(b)	3	1			100.0%			
	地域定着支援	人分 (月)	計画(a)	7	7	7	7		5	達成できた(100%以上)	地域定着支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。
	3 770-1171	(月)	実績(b)	4	7			100.0%	`*	**************************************	**************************************
		人日分 (月)	計画(a)	5,528	6,544	7,104	7,664			達成できた(100%以上)	事業所数の増加に伴い、利用者数、サービス量とも増加傾向にある。今後は サービスの質の確保も課題となる。
	児童発達支援	(71)	実績(b)	6,084	7,203			110.1%	5		
		人分 (月)	計画(a)	691	818	888	958	11110			
		(717)	実績(b)	793	933	0	0	114.1%		達成できた(100%以上)	新潟県はまぐみ小児療育センターと新潟市立児童発達支援センター「こころ
	児童発達支援センター	箇所	計画(a) 実績(b)	2	2	2	2	100.0%	5	定成できた(100/00年)	ん」においてサービス提供を行っている。事業所が限られるため、利用者の
			夫模(D) 計画(a)	15.977	24.921	28.301	32,149	100.0%		計画した見込み量に対して、	ニーズに応じた対応が課題となる。 事業所数の増加に伴い、利用者数、サービス量とも増加傾向にある。今後は
		人日分 (月)	実績(b)	19,809	21,513	20,301	32,149	86.3%		ほぼ達成できた(80%以上~ 100%未満)	サービスの質の確保も課題となる。
	放課後等デイサービス	1.0	計画(a)	1,229	1,917	2.177	2.473	00.5/0	4	/ 3-1/-//-//	
障		人分 (月)	実績(b)	1,608	1.753	2,177	2,170	91.4%			
がいい		人日分	計画(a)	45	80	87	95	01.170		計画した見込み量に対して、	事業所の数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題とな
	/	(月)	実績(b)	75	67			83.8%	_	やや達成できなかった(60% 以上~80%未満)	<b>ి</b>
童 る	保育所等訪問支援	人分	計画(a)	30	53	58	63		3		
単福祉法)		(月)	実績(b)	36	40			75.5%			
		人日分	計画(a)	_	41	41	41			達成できた(100%以上)	事業所の数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題とな
の支	  居宅訪問型児童発達支援	(月)	実績(b)	38	46			112.2%	5		ত :
援	/占七胡问至九里光廷又该 	人分 (月)	計画(a)	_	6	6	6				
		(月)	実績(b)	6	7			116.7%			
	  障がい児入所施設(福祉型)	人分 (月)	計画(a)	26	28	28	28		4	計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上~	概ね見込どおりの推移となった。(措置入所含む)
	THE TOTAL CHARLES	(月)	実績(b)	26	24			85.7%		100%未満)	
	  障がい児入所施設(医療型)	人分 (月)	計画(a)	11	8	8	8		5	達成できた(100%以上)	概ね見込どおりの推移となった。(措置入所含む)
			実績(b)	8	9	4.00		112.5%		達成できた(100%以上)	際がい旧る形式探利用学の増加にない。 利用計画のたみなせられば土塚古明界
	障がい児相談支援	人分 (月)	計画(a)	785	898	1,031	1,183	100.00	5	建成できた(10070以上)	障がい児通所支援利用者の増加に伴い、利用計画の作成を担う相談支援専門員 の確保が課題である。
		(737)	実績(b)	831	955	4	4	106.3%		達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターに医療的ケア児等コーディネーターの資格を有する相談
	医療的ケア児等に対する関連分野の支援を調整するコーディ  ネーターの配置人数	人	計画(a) 実績(b)	4	4	4	4	100.0%	5	ZZ C C /C(100/00/1/	員を配置している。
			夫模(D)	4	4			100.0%			

		第6期		第7期						
サービス種別	<u>'</u>	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題	
		計画(a)	2	2	2 2			計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	関係機関との課題整理や、協議会の運営組織体制不十分との理由により計画ど おり開催できなかった。多様化・複雑化する課題に対し、関係機関・施設との	
発達障がい者支援地域協議会	(年)	実績(b)	2	0			0.0%	2		連携を強化し、支援体制の充実が必要。
発 達	Arte and	計画(a)	1	1	1	1			計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	相談機関の増加等により、センターの直接支援は減少傾向となっているが、他 の政令市のセンターと比較すると、直接支援の件数が多く、周知・啓発などの
<ul><li>障 │</li><li>が │ 発達障がい者支援センター</li></ul>	箇所	実績(b)	1	1			100.0%	4	100%未満)	間接支援、地域支援機能の強化が課題である。
光達陣がい有叉抜ビンター	人分 (年)	計画(a)	1,300	1,000	1,000	1,000		4		
	(年)	実績(b)	876	886			88.6%			
る人 発達障がい者支援センター及び発達障がい者地域式 援マネージャーの関係機関への助言	件 (年)	計画(a) 実績(b)		5 0	5	5	0.0%	2	計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	関係機関による対応困難な事例等に関する相談がなかったため、引き続き、関係機関への周知に努めていく。
発達障がい者支援センター及び発達障がい者地域。対域スタッの対象を関わればは日本の対象を		計画(a)		30	30	30		-	達成できた(100%以上)	引き続き、外部への講師派遣や地域住民向けの講座等の開催により、発達障が
す。接々ホーンヤーの外部機関や地域住民への研修、信	(年)	実績(b)		51			170.0%	5	5	いへのさらなる理解促進を図っていく。
支		計画(a)		80	80	80			計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	支援者講座の実施者数は計画を達成できたが、保護者講座の受講者数の増が課題となっている。
援 ペアレントトレーニングやペアレントプ (保護者	) (年)	実績(b)		29			36.3%	2	22,50 1 2 5.10 1 7 1 (11 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	恩となりている。
ログラム等の支援プログラム等 <sub>実施者</sub>		計画(a)		6	6	6				
(保護者	) (年)	実績(b)		7			116.7%			
ペアレントメンターの人数	人 (年)	計画(a)		17	17	17		5	達成できた(100%以上)	発達障がいで悩みを抱える保護者が安心して子育てできるよう、引き続き、定期的に養成講座を開催していくとともに、フォローアップ研修等の開催により
	(4)	実績(b)		20			117.6%		達成できた(100%以上)	必要な知識やスキルの習得を図っていく。 「孤立しない、させない地域づくり、人づくり」「当事者、家族、支援者の
精 保健、医療及び福祉関係者による協議の場	回 (年)	計画(a)	2	2	2	2		5	建成できた(100/8以上)	ネットワークの強化」を取組方針として、年2回の「全体会」と3つのワーキンググループ「人材育成」「ピア活動」「企画調査」により取り組んだ。企画
障		実績(b)	2	2			100.0%			調査班における当事者アンケート調査結果の分析を進め、必要な取り組み内容 の検討をしていく。
が保健、医療及び福祉関係者による協議の場への関係	<u> </u>	計画(a)	16	16	16	16		5	達成できた(100%以上)	当事者、家族を含めた地域の関係機関等の17名の委員が、様々な立場から意見を出し合い、協議を深めることができた。ワーキンググループでは、全体会の
者の参加	(年)	実績(b)	16	17			106.3%	5		を出し合い、協議を深めることができた。 リーキンググループでは、全体会の 委員以外の当事者や家族も活動した。
対保健、医療及び福祉関係者による協議の場における		計画(a)	2	2	2	2		5	達成できた(100%以上)	年2回の全体会において、ワーキンググループで取り組んでいる各事業の実施 状況について評価、協議を行い、引き続き取り組みを継続していくこととなっ
地し	(年)	実績(b)	2	2			100.0%	ŭ		た。
た   地   精神障がい者の地域移行支援	人 (年)	計画(a)	1	1	1	1		2	計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	地域移行支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。
包	(年)	実績(b)	3	0			0.0%			
括 精神障がい者の地域定着支援	人 (年)	計画(a)	4	5	5	5		5	達成できた(100%以上)	地域定着支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。
7 P	(4)	実績(b)	4	5			100.0%		達成できた(100%以上)	たつす要に数人はの増加にない、 韓地底がいその主極の大中を図えてしばでも
シ 精神障がい者の共同生活援助	人(年)	計画(a) 実績(b)	181 302	311 321	340	369	103.2%	5	<b>産成ででに(10070以上)</b>	指定事業所数全体の増加に伴い、精神障がい者の支援の充実を図ることができている。障がい特性に応じた適切な支援の実施が課題。
		計画(a)	2	3	3	3		2	計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	事業所の数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題。
の 精神障がい者の自立生活援助 構	(年)	実績(b)	2	1			33.3%	2		
集 精神障がい者の自立訓練(生活訓練)	人 (年)	計画(a)		42	42	42		5	達成できた(100%以上)	利用者のニーズに応じた事業所の確保が図られている。
	(年)	実績(b)		53			126.2%			

			第6期		第7期							
		サービス種別	単位	<u>I</u>	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題
	++ +^ +	ままた中三火 ナヤダ トン・ク の三小栗 設置の 計画(a)				有	有	有		5	達成できた(100%以上)	平成27年4月から、基幹相談支援センターにて実施している。
	基軒作	目談支援センターの設置	実績(b)	有	有			100.0%	5			
	基幹	地域の相談支援事業者等に対する訪問等による専門的な指 導・助言	件 (年)	計画(a) 実績(b)	240 573	716 538	716	716	75.1%	3	計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60% 以上~80%未満)	相談支援事業者等の質の確保や地域での連携確保が図られており、専門的な指導・助言を求める事業者等は減少傾向にある。
木富	談談	地域の相談支援事業者の人材育成の支援	件 (年)	計画(a) 実績(b)	20 46	62 48	62	62	77.4%	3	計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60% 以上~80%未満)	各基幹相談支援センターにて、OJT研修を行うことで、地域の人材育成が図られている。
· · ·	又セージを	地域の相談機関との連携強化の取組	回 (年)	計画(a) 実績(b)	16 101	104 100	104	104	96.2%	4	計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上〜 100%未満)	分野の垣根を超えて地域の会議等へ参加し、連携強化に取り組んでいる。
# 0 3 9	のに 強に	個別事例の支援内容の検証の実施	回 (年)	計画(a) 実績(b)		70 55	70	70	78.6%	3	計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60% 以上~80%未満)	ケース会議の他、モニタリング結果検証を通じて、支援内容の検証に取り組んでいる。
5i	しる地	主任相談支援専門員の配置	人 (年)	計画(a) 実績(b)		13 12	14	15	92.3%	4	計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上〜 100%未満)	現状では目標値近く配置しているが、今後は、所属法人内での人事異動等に伴う相談支援専門員の入れ替わりによる主任相談支援専門員の確保が課題である。
7: 8:	.   検協	援 協議会における相談支援事業所の参画による 事例検討の実施回数及び参加事業者・機関数	回 (年)	計画(a) 実績(b)		54 36	54	54	66.7%		計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60% 以上~80%未満)	ケース会議等による事例検討を実施した。
月糸	整通に		団体 (年)	計画(a) 実績(b)		510 358	510	510	70,2%	3		
	一の開発・		部会	計画(a)		6	6	6			達成できた(100%以上)	計画通り専門部会を設置・開催した。
	改り		(年)	実績(b)		6			100.0%	_		
	 善   例 ビの		回 (年)	計画(a) 実績(b)		42 42	42	42	100.0%	5		
る o た 3 め 3	ӓ∥障がし	▲ ・福祉サービス等に係る研修その他研修への市	人 (年)	計画(a)	15	35	35	35		5	達成できた(100%以上)	障がい福祉分野に異動した新任職員向けの研修や、障がい者虐待対応の研修について実施、参加するなど、障がい者支援の基礎について理解を深めた。
組る		<b>貴</b> の参加	(年)	実績(b)	30	40			114.3%	Ÿ		
	T田 62 亿	7 進研修・啓発事業	実施の	計画(a)	有	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	学校における福祉教育や条例研修会のほか、障がい者アートの活用や周知啓発 動画配信により理解促進・周知啓発を図っている。
	22.74.14		有無	実績(b)	有	有			100.0%	Ů		
Ħ	自発的	的活動支援事業	実施の	計画(a)	有	有	有	無		5	達成できた(100%以上)	精神障がい者の社会復帰及び自立と社会生活の促進を目的に精神障がい者地域生活支援施設(いこいの家)の運営費補助を行った。運営団体が、利用者の減少
均生	1	778 777 778	有無	実績(b)	有	有			100.0%		生士	およびスタッフの高齢化により、令和7年6月末で事業終了することとなった。
ξ 5	相		箇所	計画(a) 実績(b)	4	4	4	4	100.0%		達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターが本事業の役割を担っている。
担		障がい者相談支援事業	基幹相談支援セ	計画(a)	有	5						
<b>*</b>	援		ンター設置の有無	実績(b)	有	有	.,	- 13	100.0%			
	事業	# ± \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	実施の	計画(a)	有	有	有	有			達成できた(100%以上)	平成27年4月から、基幹相談支援センターにて実施している。
		基幹相談支援センター等機能強化事業 	有無	実績(b)	有	有			100.0%	5		

			第6期		第7期							
サービス種別				立	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題
	出左须	- 見制度利用支援事業	人分	計画(a)	156	200	218	236		5	達成できた(100%以上)	年々利用者が増加しており、予算確保が課題となっている。
	ルギ19	(元前皮利用又拔爭未	(年)	実績(b)	188	223			111.5%	Ů		
	成在丝	見制度法人後見支援事業	実施の	計画(a)	有	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	新潟市社会福祉協議会が実施する法人後見事業を支援した。
	八十万		有無	実績(b)	有	有			100.0%	Ů		
	支意	  手話通訳者・要約筆記者派遣事業	派遣延人数	計画(a)	1,846	2,300	2,350	2,400			計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60%	計画値の達成に至ってはいないが、意思疎通を必要としている障がい者に適切に支援を行っている。
	援思	于印应的名 安州丰的名派是李朱	(年)	実績(b)	1,671	1,809			78.7%		以上~80%未満)	
	事疎業通	手話通訳者設置事業	人分 (年)	計画(a)	11	11	11	11			計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上~	一部の区において、退職が理由で欠員となっている。任用には資格も必要であり、担い手の確保が課題となっている。
		1 品地が自改臣が未	(年)	実績(b)	10	9			81.8%		100%未満)	
		  介護·訓練支援用具	件 (年)	計画(a)	59	58	58	58		3	計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60%	一定の水準以上のサービス提供が実施できている。
		7.60 的原义1871关	(年)	実績(b)	64	35			60.3%		以上~80%未満)	
地	日	  自立生活支援用具	件、件、	計画(a)	162	133	133	133		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	一定の水準以上のサービス提供が実施できている。
域 生	常生		(年)	実績(b)	126	130			97.7%		100%未満)	
活	活	  在宅療養等支援用具	件 (年)	計画(a)	194	193	193	193		3	計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60%	一定の水準以上のサービス提供が実施できている。
支援	用具		(年)	実績(b)	140	116			60.1%		以上~80%未満)	
事業	給	  情報・意思疎通支援用具	件 (年)	計画(a)	357	233	233	233		3	計画した見込み量に対して、 やや達成できなかった(60%	一定の水準以上のサービス提供が実施できている。
未	付 等	IN IN INCOMES AND	(年)	実績(b)	204	170			73.0%		以上~80%未満)	
	事業	  排泄管理支援用具	件 (年)	計画(a)	14,109	14,397	14,397	14,397		5	達成できた(100%以上)	一定の水準以上のサービス提供が実施できている。
	_	3772 11 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	(年)	実績(b)	15,088	15,161			105.3%		h b	
		居宅生活動作補助用具	件 (年)	計画(a)	21	18	18	18		5	達成できた(100%以上)	一定の水準以上のサービス提供が実施できている。
		(住宅改修費)	(年)	実績(b)	21	20			111.1%		****** (1000/ N I )	
	手話奉	· 仕員養成研修	登録者数	計画(a)	115	115	117	132		5	達成できた(100%以上)	受講者数を一定数確保することができた。奉仕員の資格取得後、手話通訳者養 成講座への受講促進が課題である。
	'			実績(b)	111	131			113.9%		의표 L + 무기 1-무 L 첫 L ~	<b>26日本米デニシルフ・ル・3 「井のブロカ Nic」」「10日本 2 </b>
			人分 (年)	計画(a)	1,306	1,169	1,191	1,191			計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上~	登録事業所におけるヘルパー人材の不足などにより、利用者のニーズに応じた サービス提供ができていない状況がある。今後は、ヘルパー人材の確保が課題
	移動支	援事業	(#)	実績(b)	1,155	1,216			104.0%	4	100%未満)	となる。
			延時間 (年)	計画(a)	119,870	106,539	116,553	116,553				
			(+)	実績(b)	96,979	97,360			91.4%			

					第6期		第7期					
		サービス種別	単位	İ	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題
			Anto-Fr	計画(a)	2	2	2	2			計画した見込み量に対して、	Ⅰ型事業所は今後の設置計画の課題があることから、利用者のニーズに応じた
		地	箇所	実績(b)	2	2			100.0%	3	以上~80%未満)	事業所整備の検討が必要である。
		活  1117	人分 (年)	計画(a)	188	171	171	171		3		
		動 I 支	(年)	実績(b)	144	135			78.9%			
	3	型援力	簡所	計画(a)	1	1	1	1			計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	利用者のニーズに応じるため、引き続き他市町村と連携を図っていく。(燕
		こ    g 他市町村分	直別	実績(b)	1	1			100.0%	2	定/ (こなが ) / ((((((((((((((((((((((((((((((((((	10)
		夕 他中町村分 	人分 (年)	計画(a)	29	28	28	28		2		
			(年)	実績(b)	31	5			17.9%			
		地	簡所	計画(a)	2	2	2	2			計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上~	Ⅱ型事業所は入浴希望者数の増加等の課題があることから、利用者のニーズに 応じた事業所整備の検討が必要である。
	地域	白本公	E 771	実績(b)	2	2			100.0%	4	100%未満)	かした事業が正端の状的な必要である。
	活動	活   日 ロ ガ   動	人分	計画(a)	142	122	122	122		7		
	支	Ⅱ支	(年)	実績(b)	101	105			86.1%			
地	援セ	型援セ	<b>簡</b> 所	計画(a)		1	1	1			計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	令和7年3月時点で利用実績なし。
域生	ンタ	ン    <sub>タ</sub>  他市町村分	12171	実績(b)		0			0.0%	2		
活	Î		人分	計画(a)		1	1	1		_		
支援			(年)	実績(b)		0			0.0%			
事業			箇所	計画(a)	25	25	25	25			計画した見込み量に対して、 ほぼ達成できた(80%以上〜 100%未満)	Ⅲ型事業所については、1日の利用者数が少ない事業所も見受けられるので、 補助基準の見直し、事業所数の適正化を図る必要がある。
*		地		実績(b)	25	24			96.0%	4 100%		
		活 日ログ	人分 (年)	計画(a)	909	868	868	868				
	]	型援	(年)	実績(b)	802	850			97.9%		達成できた(100%以上)	++++0.00m 2m+4++
	3	空域 セー	箇所	計画(a)	1	1	1	1			達成できた(100%以上)	市内施設の利用が困難な方については、市外施設を利用できるよう周辺市町村との連携を図っていく。
		ン    g 他市町村分		実績(b)	1	2			200.0%	5		(五泉市、新発田市、聖籠町、燕市、三条市、胎内市、弥彦村及び見附市と市 外在住者の利用者に関する協定書を締結済)
		1	人分 (年)	計画(a)	4	3	3	3	100.00/			TEEE CONTINUE COMME TO COMPANY
			(4)	実績(b)	3	3			100.0%		計画した見込み量に対して、	相談機関の増加等により、センターの直接支援は減少傾向となっているが、他
			箇所	計画(a)	1	1	1	1	100.00		ほぼ達成できた(80%以上~	の政令市のセンターと比較すると、直接支援の件数が多く、周知・啓発などの
3	を 達障が	がい者支援センター		実績(b)	1 200	1 000	4 000	4.000	100.0%	4	100%未満)	間接支援、地域支援機能の強化が課題である。
			人分 (年)	計画(a)	1,300	1,000	1,000	1,000	0.0.004			
			(-,	実績(b)	876	886			88.6%		達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターに配属している障がい児支援コーディネーターが相談支
ßi	きがい!	児等療育支援事業	箇所	計画(a)	4	4	4	4	100.00	- 5		要評相談文法でブダーに配属している陣かい兄文法コーティネーダーが相談文 援にあたっている。
				実績(b)	4	4			100.0%			

				第6期		第7期						
		サービス種別	単位	Ī	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に応じて 1~5の数字を入 力	達成状況	評価と課題
	専う門	手話通訳者養成研修事業	登録者数	計画(a)	61	61	63	65		5	達成できた(100%以上)	通訳者のさらなる確保に向けて、継続した事業実施が必要。
	者性 のの			実績(b)	68	65			106.6%		計画した見込み量に対して、	悪処体記せのような7.700に白はて、似体しょ 古米中サゼル悪
	養高 成い	要約筆記者養成研修事業	登録者数	計画(a)	33	35	37	39			ほぼ達成できた(80%以上~	要約筆記者のさらなる確保に向けて、継続した事業実施が必要。
	研意 修思			実績(b)	33	29	7.0	7.0	82.9%		100%未満) 計画した見込み量に対して、	<b>富ろう者向け通訳・介助員のさらなる確保に向けて、綵続した事業実施が必</b>
	· 疎 派通	盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業	登録者数	計画(a) 実績(b)	71 57	67 61	70	73	91.0%		ほぼ達成できた(80%以上~ 100%未満)	自つプイドリカで、川切貝のでするる唯体に円けて、MEMICに手来夫地が必要。
	造支事援		派遣延人数	計画(a)	1,183	1,034	1,088	1,142			計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~	意思疎通を必要としている障がい者に適切に支援を行っている。
	業を 行	盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業	(年)	実績(b)	937	944			91.3%	4	100%未満)	
	精神 障が	也域生活支援広域調整会議等事業	回 (年)	計画(a)	2	2	2	2		5	達成できた(100%以上)	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築推進のための協議の場である「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」の全体会を計画通り開催した。引き続き関係機関等と連携し、支援体制の構築に向けて協議をしていく。
	整地		(年)	実績(b)	2	2			100.0%			
地	整等事業者地域生活支援	地域移行・地域生活支援事業	ピアサポート	計画(a)	18	18	18	18			計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	当事者が「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」の全体会の委員(2 名)やワーキンググループのメンバー、交流会での活動発表(2名)などに従 事した。体調不良により活動できなくなった当事者がいた(1名)。事業等を
域生活	広域調	2000年	従事者数	実績(b)	5	4			22.2%	-		通して、新たに活動可能な当事者へ声掛けをしていく。
支援事	杂達隨	計画(a)   計画(a)   計画(a)   計画(a)   計画(b)   計画(c)   計画			2	2	2	2		2	計画した見込み量に対して、 達成できなかった(60%未満)	課題整理及び運営体制不十分だったため計画どおり協議会を開催できなかった。多様化・複雑化する課題に対し、関係機関・施設との連携を強化し、支援 体制の充実が必要。
耒	70.Æ	美厚かい名叉抜地収励議会 		実績(b)	2	0			0.0%	2		
		日中一時支援事業	日分(年)	計画(a)	39,379	37,248	39,222	41,301		5	達成できた(100%以上)	日中活動系事業所が開所していない時間帯などサービスの隙間を埋める役割も あり利用ニーズが高い。 持続可能な制度にするための改正を検討中。
	z		(年)	実績(b)	39,101	42,160			113.2%	Ů		
	そ の 他 の	訪問入浴サービス事業	人分	計画(a)	43	39	38	37		5	達成できた(100%以上)	通所施設での入浴機会の確保や介護保険への移行に伴い、利用者数は減少傾向 にある。
	支援事:	前向八冶サーレ入事業	(年)	実績(b)	40	39			100.0%	5		
	業		箇所	計画(a)	1	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	教育・医療・福祉機関と連携することで、潜在的なニーズを掘り起こす必要がある。
		序がい日   ひ   リ が 一 ド ピン ダ 一 遅 呂 争 来	迫 <i>门</i>	実績(b)	1	1			100.0%	,		